

授業科目 作業療法記録・報告方法論

【担当教員名】 濱口豊太		対象学年	3	対象学科	作業療法
		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	
【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】 作業療法施行に随伴して残される「記録・報告」の基本的知識、態度および臨床記録作成技法を修得する。					
【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】 1. 作業療法に必要とされる「記録・報告」の基本的知識について概略説明することができる。 2. 記録の種類とそれらの書式、特徴をふまえ、臨床実習Ⅱの担当事例と関連づけることができる。 3. 担当事例の記録作成、学習1（評価記録／初診時の記録）の書式を把握し説明することができる。 4. 担当事例の記録作成、学習2（評価記録／経過記録）の書式を把握施設することができる。 5. 担当事例の記録作成、学習3（評価記録／終了時の記録）の書式を把握し説明することができる。 6. その他、記録され、報告される記録の書式について把握し説明することができる。					
回数	授業計画又は学習の主題	SBO			
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員		
1	記録・報告の知識（基本知識、種類と特徴）	1, 2	講義		
2	評価記録から初診時の記録作成	3	講義、演習		
3	初診時の記録から経過記録作成	4	講義、演習		
4	同上	4	講義、演習		
5	終了時記録作成	5	講義、演習		
6	その他の記録および報告書作成	6	演習、発表、討議		
7	復習（事例学習）		講義、討議		
【使用図書】		＜書名＞ ＜著者名＞ ＜発行所＞ ＜発行年・価格・その他＞			
教科書		作業療法実践の仕組み－事例編－ 矢谷令子他 協同医書 2004年.			
参考書		紹介します			
その他の資料					
【評価方法】 提出 50％ テスト 50％		【履修上の留意点】 臨床実習Ⅱをふまえ、臨床実習Ⅲに役立てるものです。 臨場感を持って学習にあたってください。			